

## 出張報告書

用務	H30 東日本技術職員特別研修会			
日時	平成 30 年 8 月 28 日 (火) ~ 平成 30 年 8 月 31 日 (金)			
出張者	所属	技術教育支援センター	氏名	樋口 剛康
提出日	平成 30 年 9 月 3 日			
用務先	長岡技術科学大学 マルチメディアセンターなど			
出張内容	<p>平成30年8月29日～31日に長岡技術科学大学で開催された「平成30年度独立行政法人国立高等専門学校機構東日本地域高等専門学校技術職員特別研修会（機械系）」に参加し「CADを用いた、設計に対する授業支援について」の演題で発表を行った。</p> <p>8/28 ・移動日 8/29 ・富山高専 賞雅(たかまさ)校長 講義「予測不能社会における高専技術教育」 ・技科大 田辺教授 他 3 講義 8/30 ・技術職員による発表 8/31 ・施設見学(12:30 終了)</p>			
所感	<p>技術職員の発表者は 25 名。40 才前後の職員が多く見られた。賞雅校長や技科大の講義のテーマは「予測不能」であるように感じた。技術職員の発表は 9 分、10 分、13 分毎に鈴。質疑の時間は延長アリ。発表内容は研究及び授業に関してが、各 3 割、公開講座などが 2 割程度。施設見学は、粒子加速器と実習工場。工場の職員曰く近年は学生の工場使用時間は減っている。これは MISUMI などの市販品で大体の加工が終わっており、追加工程で済むため、との事。</p>			
備考	添付資料 (有)・無 概要集 他			